

資料提供 令和5年8月14日	
担当課 (担当者)	小中学校課 (山本)
電話	0857-26-7512

令和5年度科学の甲子園ジュニア鳥取県大会の開催

1 目的

理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、県内の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供する。このことによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成する。

2 主催 鳥取県教育委員会

3 日時 令和5年8月17日（木） 午前10時から午後4時まで

4 会場 倉吉未来中心 セミナールーム3（倉吉市駄経寺町212-5）

5 参加対象者及び参加予定人数

- (1) 参加対象者 県内中学校の1・2年生、義務教育学校の中学校1・2年生に相当する学年の生徒（3人で1チーム）
- (2) 参加予定人数 生徒75名（12校・25チーム）

6 日程

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:15	開会式・諸連絡
10:25～11:40	筆記競技（競技説明5分、筆記競技70分）
11:50～12:30	昼休憩
12:30～14:55	実技競技（競技説明15分、実技競技130分）
15:30～16:00	結果発表・閉会式・解散

7 競技内容及び競技方法

(1) 筆記競技

理科、数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連や融合領域に配慮した出題とする。生徒が修得済みの知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。

(2) 実技競技

実技競技は、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する力を競うものとする。

※筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが課題を分担、相談するなど協働して、その成果を競い合う形式のものとする。

8 全国大会への出場

筆記・実技競技の合計得点が高かった上位2チームに「科学の甲子園ジュニア」全国大会への出場権を与える。（上位2チームの6名で鳥取県代表チームを編成する）

<全国大会>

（期日）令和5年12月8日（金）～10日（日）

（会場）アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）